



Good News for Japan

とぎのこえ



聖書に学ぶ 人生観

西宮 幸治

先頃の新聞に、厚生労働省から発表された二〇一三年の日本人の平均寿命が掲載されておりました。それによりますと、女性は八十六・六一歳、男性は八十二・一歳で、いずれも過去最高を更新したとのこと。女性は二年連続で長寿世界一、男性は調査が始まった一八九一年以来初めて八十

歳を超え、世界第四位だそうです。日野原重明先生は『命をみつめて』という著書の中で、「日本人の平均寿命が延びようとも、結局私たちの肉体は朽ちてしまう。だから、死が待っているのです」と書いておられますが、これは否定することのできない現実です。旧約聖書の詩編には「人生の年月は七十年程のものです。健やかな人が八十年を数えても得るところは労苦と災いにすぎません。瞬く間に時は過ぎ、わたしたちは飛び去ります」(90編10節)とあり、これも真実です。

では、限りある人生をいかに生きるべきかについて、聖書の言葉に耳を傾けてみたいと思います。初代キリスト教会の指導者であったパウロが弟子のテモテに書き送った手紙の中で、「わたしたちは、何も持たずに世に生まれ、世を去るときは何も持って行くことができな」ので、「食べる物と着る物があれば、わたしたちはそれで満足すべきです」(テモテへの手紙一6章7、8節)と述べています。

物が溢れるほど豊かで、お金さえあれば何でもほしい物が手に入る今日の日本に、「食べ物と衣服だけあれば満足だ」と言える人は少ないと思われれます。この手紙の中でパウロは、人間の金銭欲を戒め、次のように語っています。「金持ちになろうとする者は、誘惑、罣、無分別で有害なさまさまの欲望に陥ります。その欲望が、人を滅亡と破滅に陥れます。」(6章9節)新聞やテレビで毎日のように報道される詐欺、窃盗、強盗、殺人事件などの犯罪に手を染め、悲惨な人生の結末を迎えた人々の背後には、自分の持てるもので満足できず、金銭欲に目が眩んだ人間の姿があります。イエス・キリストは、「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があるか。自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか」(マタイによる福音書16章26節)と問いかけておられます。

同じマタイによる福音書の別のところには、「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」(4章4節)とも書かれています。人間は生きるのに、パン(物質)を必要としますが、同時に神を必要とする霊的な存在でもあるのです。パンは人の心の渇きを癒し、強めることはできません。

昔、詩編の作者は「涸れた谷に鹿が水を求めるように 神よ、わたしの魂はあなたを求め。神に、命の神に、わたしの魂は渇く」(42編2節)と詠いました。天地の創造者である神は、人類を罪とその悲惨な結果から救うために、イエス・キリストを救い主としてこの世に送ってくださいました。この愛なる神を知ることこそ、わたしたちの心の渇きを癒し、強め、人を破滅に陥れる欲望に打ち勝つ勝利者とする秘訣なのです。(救世軍士官(伝道者))

謹んで震災のお見舞いを申し上げます。一日も早い被災者の方々の心の平安の回復と、被災地の復興をお祈り申し上げます。

復と、被災地の復興をお祈り申し上げます。

《信仰の体験談》

心の炎を燃やし続ける力



さかもと たすく
坂本 翼

進学・就職の挫折を経験

でくださったこと、そして、イエス様を救い主と信じるならば、自分の罪は赦され、神様の子ともされることを、ごく自然に受け入れていました。そして、中学二年生の時に、洗礼を受け、クリスチャンになりました。

高校時代は、ある地方の大学を第一志望にしていたが、残念ながら落ちてしまいが、東京にある三年制の専門学校に入学しました。これは、私にとって大きな挫折でした。また、就職活動の頃は、ちょうど不景気の影響を受け、希望する研究職の部門は人員の削減や縮小方向で、諦めざるを得ませんでした。自分の希望どおりに進めないことが本当に辛い時でしたが、神様に祈り、聖書の言葉に励まされて、乗り越えることができました。母の勧めもあり、同じ教団の荻窪栄光教会に通っていました。

わたつたのは、今から十三年前、二十五歳の十一月二十五日でした。教会で案内された、バックストン聖会に初めて参加し、聖書のイザヤ書からの説教を聞いていた時のことです。

「たといあなたがたの罪は緋のようであつても、雪のように白くなるのだ。紅のように赤くても、羊の毛のようになるのだ」(1章18節・口語訳・以後もすべて)という御言葉と、六章一八節の御言葉から「聖霊の火は徹底的に、内なる罪・汚れを焼きつくし、新しく変えてくださる。そして、魂の奥底から人を変えようとしている」と示されました。その時に、本当に、はつと気づいたのですが、私の魂がすでに変えられていること、傷や曇りのない、澄んだ水晶のようなものにされているように思いました。ただただ、「魂が変えられるとは、こういうことか」と驚くばかりでした。聖会后、今までよりも聖書の言葉が魂の奥深くに入ってくるのを実感して、経験したことのない心の平安と恵みが与えられました。その日から私は本当に変えられました。まず、とにかく聖書を読むようになりました。それまでの読み方

とは全く変わりました。また、多くの信仰の先輩―牧師、指導者の説教集や著書を読むようになりました。牧師だけでなく、社会福祉に携わる方、社会運動家の著作も読み、大きな恵みを受けました。私が好きなのは、日本の明治から昭和初期までに活躍した方々です。中田重治、賀川豊彦、矢内原忠雄、海外の人では、チャールズ・フインニー、ジョージ・ミューラーなどです。

また、バックストン聖会の時に、私の心と与えられた、罪を聖める聖霊の火は、その後も、御言葉や、これらの人々の本を読み続けることよって、ガソリンや薪がくべられるかのように、さらに強く大きく燃えるようになりました。

そして、教会の働きのお手伝いや、信仰を深め、神様の聖さを求める集会への出席などに、積極的にになりました。その都度、新しい恵みと導きが与えられています。

救世軍との出会い

「救世軍」、「山室軍平」については知っていましたが、二十六歳の時、山室軍平の著作で最も有名な『平民の福音』を購入しました。

私を育ててくれたもの

―救世軍でおこなっている街頭生活者への支援活動に十年来参加している男性がいます。穏やかに実直に取り組み姿は、神様の愛の誠実さを現すようです。

彼は、栃木県的那須で、クリスチャンの両親の下、二人兄弟の次男として生まれ育ちました。母方の祖父もクリスチャンで、母は、結婚まで福島県会津若松の待望教会(日本イエス・キリスト教団)で、信仰を守っていました。私も生まれた時から両親と共に栃木県にある、

同じ教団の黒磯教会の日曜学校に通っていました。夏休みには、日曜学校のイベントであるキャンプに参加したり、母の実家の会津若松に帰郷すると、祖父母の教会に通ったり、という中で育ちました。

天地を創造された神様がいらっしゃること、その独り子であるイエス様が、私の罪のために十字架で死ん

信仰の転機

私の信仰生活が大きく変



両親、兄と一緒に。黒磯教会で(左端)

この本との出会いは、私に大きな影響を与えました。霊的な開眼の書の一つです。他に、山室軍平の説教集や、評伝も読みました。そして、聖書の勉強だけでなく、実践的な信仰が大切であると教えられました。

救世軍に出合ったのは、二十七歳の時です。新宿で社会鍋募金を見かけ、協力したのがきっかけでした。その場でパンフレットをいただき、年が明けた頃に、初めて神田神保町の本営(本部を訪ねました。玄関前に「ゴスペルハウス」という小さな案内のコーナーがあり、お話をうかがい、その時に、街頭生活者を支援するボランティアについて知りしました。以来、時々ゴスペルハウスを訪ねたり、平日におこなわれている祈

禱会や集会に参加したりするようになりました。そして、ちょうど一年経った二十八歳の冬、初めて、街頭生活者のためのボランティア活動に参加しました。その当時、神田小隊教会にあたる)の小隊長(牧師にあたる)だった生井清少佐は福島県の出身でした。私の母が通っていた待望教会を始めた、森山論牧師の家の隣町に住んでいたそうです。小隊長が小さい頃、森山先生のお宅でのキリスト教の集会に通ったことがあったと聞き、私の母もその集会に行っていたので、二人は以前会っていたかもしれない、と思いました。また、祖父は、歴史好きで、会津のキリスト教の歴史をまとめていました。その中に、祖父が山室軍平の夫人(悦子)の葬儀(一九三七年)に参

列したことが書いてありました。その葬儀の会場が、神田小隊の会館(当時は中央会館)だったのです。何十年も経って、私が神田の救世軍に導かれたことを思うと、祖父から私への神様の不思議な導きを感じています。

三十代の生き方を求め

三十代を迎えようという時、神様に、三十代の指針となる御言葉を与えてくだ

さいと祈りました。すると、「死地にひかれゆく者を助け出せ、滅びによろめきゆく者を救え。あなたが、われわれはこれを知らなかったといつても心をはかる者はそれを悟らないであろうか。あなたの魂を守る者はそれを知らないであろうか。彼はおのの行いにより、人に報いないであろうか」(箴言24章11、12節)

という御言葉が与えられました。私の心に、「天網恢恢疎にして漏らさず」という言葉が示されました。神様は、すべて知っておられるのしたことも、しなかつたことも、天にはすべてが記されている」と確信したので。神様に、「今までしてきたボランティアの働きを続けるように」と言われていたと思いました。街頭生活を余儀なくされ、本当に大変な思いをされている方々、まるで死地にひかれゆくような方々のためにこれからもできるだけのことをさせていただけようと思心しました。

聖書の言葉によって

私の好きな御言葉は、「すると彼はわたしに言った、『ゼルバベルに、主がお告げになる言葉は

これです。万軍の主は仰せられる、これは権勢によらず、能力によらず、わたしの霊によるのである』(ゼカリヤ書4章6節)です。組織や個人的な能力などに頼らず、ただ、聖霊と御言葉に信頼することが大切であると示されています。私の人生を支えてきたのは、御言葉の力、それ以外の何もありません。今思えば、第一希望の大学に落ちたことも、教会から離れないように、との神様の取り計らいだったかと思えます。ハドソン・テラーという宣教師が、「主はご自分の民をこの世を愛する思いや、この世の物事への執着から切り離そうとされるのです」と書いているのを読んだ時、あの経験も、神様の導きだったと思

いました。様々な小さな問題はもちろんありますが、日々、御言葉によつてがっしりと支えられている実感がありません。私の願いは、これから、聖書の御言葉と、信仰の指導者に教えられることで生きていくことです。

「神の言をあなたがたに語った指導者たちのことを、いつも思い起しなさい。彼らの生活の最後を見て、その信仰になら



声掛けしつつお弁当を手渡す

神様の力は目には見えませんが、今も確かにあります。人生、これから何があるかわかりませんが、信仰をもっていけば、しつかりと大胆に歩んでいけると思

ついています。(日本イエスキリスト教団 荻窪栄光教会所属)

「尊敬する信仰者の言葉」 苦難、迫害と共に歩む大胆者となれ。」御牧碩太郎

※バックストン聖会 パークレー・F・バックストンは、イギリスの進貴族の家に生まれ、ケンブリッジ大学に学び、約十年前日本伝道に来日した。松江でわざわざまで伝道の傍ら、多くの伝道者、信徒を訓練し、松江バンドと呼ばれる、日本の福音派の源流を生み出した。バックストンは、身近にいと温かく、それでいて神々しい、「神の聖き人」だと言われ、毎年十一月に、彼のよ

うな神の聖さを求める集会が開かれている。

クリトリ
ご氏名
ご住所
この部分を封書か葉書に貼り、裏、面下の救世軍にお送りください。

創立者 ウイリアム・ブリス 大将 アンドレ・コックス (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 勝地 次郎 (救世軍本営 東京都千代田区) http://www.salvationarmy.or.jp



世界をみつめて

〈パキスタン〉洪水被災者支援

9 月初め、過去 40 年で最も激しいと言われた豪雨によって、インド及びパキスタンで洪水の被害が広がり、死者は両国合わせて 350 人以上となりました。



パキスタンの救世軍は、早速、最も被害が深刻なパキスタン北部のパンジャブを中心に、500 家族分の食料や、調理器具を提供しました。パキスタン北部は、農業地域であり、4,000 以上の村の被害によって、中期的な食糧の安全確保にも課題が生じています。

報告によると、4 万以上の建物が被害を受け、2 メートル近い水や汚水に浸かった建物は数千に及びました。

現在、約 50 万以上の人々が、避難先から、洪水によって荒廃した場所に帰ってきています。パキスタンの救世軍では、万国本部からの援助によって支援をおこなっていますが、「約 15 ドルの寄付があれば、1 家族が 1 週間生活できる食料になる」と世界各地からの協力を呼びかけています。

日本においては、一八九五 (明治 28) 年に救世軍の働きが始まりました。娼婦運動の推進、女性や子どもの保護、職業斡旋、街頭給食、結核病院の設立、アルコール依存症者の回復支援など、その時々々の社会の必要に応える働きをおこなっている、すべての人に与えられる神の愛を伝えてきました。現在、四十五の小隊 (教会にあたる) と十二の分隊 (伝道所にあたる) と二つの病院、様々な社会福祉施設 (下記参照) を通じて働きを進めています。

〈日本〉広島大規模土砂災害被災地支援 (続)

8 月 20 日 (木) に広島市北部で起きた大規模土砂災害の被災地では、支援活動が継続されています。泥かきなどの手作業は徐々に終息を見せ、次なる復興への足掛かりが見えてきました。



救世軍では、9 月 18 日 (木) に、安佐北区可部東地区にて、被災された住民や、同地区で活動している 150 ~ 200 人ほどのボランティアの方々を対象に、かき氷 160 杯、ドーナツ 180 個、コーヒーマグ 100 杯を提供しました。また、23 日 (火) には、東日本大震災被災地復興支援の継続を報告しつつ、東北の食材を用いた、東北井及び東北汁 150 食と、ずんだかき氷を 60 杯提供しました。

これまで、地域の住民とボランティアが交流する機会があまりなかった中、今回の支援を通して、お茶を飲みながらの良い交流がなされました。各地からボランティアのために集まっている大工さんたちも会話を楽しみつつ、一般する時となり、また、23 日は祝日だったため、子どもたちにとっても、かき氷などを楽しむひとときとなりました。

救世軍では他に、復旧作業に必要とされているコンパネ (合板) や、床材などの資材を提供しています。

救世軍とは

The Salvation Army

国際的なキリスト教会 (プロテスタント) です。一八六五年、イギリスのメソジスト教会の牧師だったウイリアム・ブリスによって創立されました。創立当時より、貧困にあえぐ人々、搾取されている女性たち、仕事につけない人々、お酒のために身を崩した人々、十分な世話や教育を受けられない子どもたちなど、社会の光が当たらないところにいる人々の必要に応えながら、神の愛を伝えてきました。その結果、様々な社会福祉施設、病院がつくられ、学校が建てられて、今日に至っています。現在、救世軍の働きは世界百二十六の国と地域に広がり、国際的な協力体制の下、災害被災者支援、開発途上国における自立支援、人身売買阻止などの働きも積極的におこなっています。

救世軍の社会福祉施設

保育所

- 札幌市しせいかん保育園 (011-204-9560)
- 桑園保育所 北海道・札幌市 (011-221-6630)
- 菊水上町保育園 北海道・札幌市 (011-821-2879)
- 佐野保育園 栃木・佐野市 (0283-22-4081)
- 呉保育所 広島・呉市 (0823-21-4711)

児童養護施設

- 機恵子寮 東京 (03-3729-0357)
- 世光寮 東京 (03-3381-0545)
- 希望館 大阪 (072-623-3758)
- 愛光園 広島 (0823-21-6374)
- 豊浜学寮 広島 (0823-68-2029)

婦人保護施設

- 婦人寮 東京 (03-3381-0992)
- 新生寮 東京 (042-522-2306)
- 大阪アベノ地下街救世軍 カウンセリング・ルーム (06-6773-2956)

特別養護老人ホーム

- 恵泉ホーム 東京・清瀬市 (042-493-5161)
- 恵みの家 (ユニットケア型) 東京・杉並区 (03-3381-7243)

ケアハウス

- いずみ (恵泉ホーム併設) (042-496-7575)
- 併設: ホームヘルプステーションいずみ

老人保健施設

- ブース記念老人保健施設グレイス 東京・杉並区 (03-3380-1248)

併設: 杉並区地域包括支援センター ケア24和田
ブース記念ケアマネジメントセンター和田
ブース記念訪問介護ステーション ルツ・ナオミ

アルコール依存症者支援施設

- 自省館 (救護施設) 東京・清瀬市 (042-493-5374)
- 男子社会奉仕センター 東京・杉並区 (03-5860-2992)

男子宿泊施設

- 自助館 東京・中央区 (03-5860-2994)
- 新光館 東京・新宿区 (03-5860-2818)

救世軍バザーのご案内

救世軍バザー場

オープン 毎週土曜日 9~14 時
中野富士見町 (東京メトロ丸ノ内線) より徒歩 10 分

江東出張所

オープン 毎週土曜日 10~15 時
錦糸町 (東京メトロ半蔵門線/JR) より徒歩 10 分

どちらも寄贈品受付、お問い合わせは 03-5860-2992 まで

クリスマス 「とぎのこえ」
Christmas Light クリスマス特集号 (12月1日発行)

クリスマス・メッセージ
インタビュー
右近勝吉さん
(元祖便利屋 右近サービス社 代表)

信仰の体験談
杉岡広子さん
(人形作家、近畿福音ルーテル教会牧師夫人)

ぜひお求めください! (1部 100円)

2014 年 感謝祭募金結果

(2014 年 10 月 8 日現在)

ご協力を心から感謝し、下記のとおりご報告申し上げます。

北海道地区	1,073,200
関東東北地区	2,232,950
東京東海地区	7,531,000
西日本地区	3,047,400
医療部	581,643
社会福祉部	1,915,030
士官学校	1,350,000
全国合計	17,731,223

発行所 救世軍本営
東京 (03) 三三七〇八八一

電話 東京 (03) 三三七〇八八一

編集人 齋藤 恵子

印刷所 救世軍本営
東京 (03) 三三七〇八八一

発行日 毎月一日・十五日

定価 一冊 150 円

発行日及び定価

救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。

(取扱支部)

救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。

救世軍に相談ください。

(この欄に通信文を書くとは第三種扱いになりません)